

平成26年度 特別会計決算

特別会計は、特定の事業等について、その収支を明確にするために一般会計と区別して処理する会計で、国民健康保険特別会計のように法律で義務付けられているものや、条例で設置されるものなど6会計があります。

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
住宅改修資金特別会計	318万円	267万円	51万円
白樺高原下水道事業特別会計	5,126万円	5,031万円	96万円
国民健康保険特別会計	8億8,393万円	8億6,784万円	1,608万円
介護保険特別会計	7億9,210万円	7億6,473万円	2,737万円
下水道事業特別会計	4億1,793万円	4億 980万円	812万円
後期高齢者医療特別会計	6,848万円	6,835万円	12万円
計	22億1,688万円	21億6,371万円	5,316万円

平成26年度 公営企業会計決算

公営企業会計は、水道料金等の収益によって運営される独立採算の会計です。

公営企業会計		収入決算額	支出決算額	純利益 (又は純損失)
水道事業	収益的	3億 101万円	2億9,137万円	964万円
	資本的	1,718万円	1億4,711万円	
索道事業	収益的	3億 37万円	4億 614万円	△1億 578万円
	資本的	—	7,316万円	

説明 ・収益的収支決算額は消費税抜き金額です。

・索道事業の収益的収支は純損失1億578万円で、前年度繰越利益剰余金△4億9,731万円と合わせた6億308万円を翌年度繰越欠損金として処理しました。

・資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、水道事業会計は過年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額で、索道事業会計は過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填しました。

平成26年度末 借入金と基金の状況

会計名 (事業名)		町債未償還残高	基金現在高
一般会計		27億3,722万円	35億1,357万円
特別会計	住宅改修資金事業	341万円	261万円
	白樺高原下水道事業	—	3億4,079万円
	国民健康保険事業	—	8,620万円
	介護保険事業	—	4,639万円
	下水道事業	24億1,773万円	—
計		51億5,836万円	39億8,956万円

会計名 (事業名)		町債未償還残高	現金・預金
公営企業 会計	水道事業	6億7,505万円	5億2,942万円
	索道事業	—	4億5,765万円